

ドイツ自動車業界規格

LV124 Part II
[機械的要件]
冷却水回路 圧力間欠試験
Coolant circuit pressure pulsation test
M-07自動車部品の国際規格試験対応は
エスペックにお任せください！

LV124規格はドイツ自動車メーカー5社により規定されている車載向け規格で、自動車メーカーへ納品するサプライヤーの部品品質基準として定められ、OEMへの納入時評価の一つとして利用されています。

冷却水回路 圧力間欠試験 Coolant circuit pressure pulsation test

冷却回路を持つ自動車のインバーターなどの供試体に対し、冷却液(LLC)による圧力間欠試験が行えます。
冷却液の圧力・温度・流量が制御でき、供試体の周囲環境温度も作り出せます。
圧力間欠試験装置と恒温槽を組み合わせることで試験します。

詳細動画は
こちらから



冷却水回路 圧力間欠試験

圧力間欠試験装置

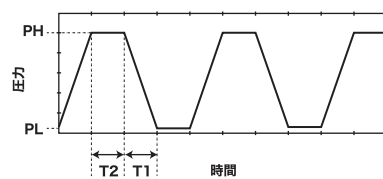
項目	仕様	
試験条件 範囲	循環液	LLC(ロングライフクーラント)
	圧力	0~260kPa 低圧と高圧を任意で設定可能
	液温	-20℃~0℃ +40℃~+90℃
	圧力切替周期	最速0.5s~常時加圧

- 冷却水の圧力印加を低圧と高圧で設定可能
- 最速0.5sの圧力切替および長期サイクル運転が可能



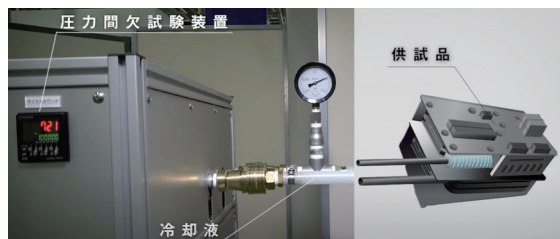
圧力間欠
試験装置

恒温槽



圧力波形イメージ図

電動車両では大電流通電による高発熱が発生するため、冷却水回路を搭載する車載用電子機器が増えています。
圧力間欠試験は、冷却水圧力(高圧、低圧)、周波数(高圧⇄低圧の切替え時間)、繰り返し回数、冷却水温度、試験環境温度などの様々なパラメータを精度よく制御することが求められます。



※画像はすべてイメージです

エスペック株式会社 <https://www.espec.co.jp/>

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

エスペック 受託拠点 検索

●受託試験に関するお問い合わせは

【とちぎバッテリー安全認証センター／宇都宮試験所】Tel:028-667-8735 【神奈川オフィス】Tel:044-740-8456

【豊田試験所】Tel:0565-25-3364 【刈谷試験所】Tel:0566-62-8380 【神戸試験所】Tel:078-951-0961

こちらからも
ご確認ください

